

令和 6 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 11 年 3 月 31 日（5 年間）
担 当 部 課	産業振興部農林水産課 電 話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
<p>指定管理者として適切に施設を管理しており、ここ数年、経営は好調を維持している。平成28年度から 9 期連続で売上増となり、総売上高も 3 年連続して 5 億円を越えているなど経営状況は優良と評価する。</p> <p>事業内容としては、農産物直販施設及び特産品展示販売施設は、地元農産物等の販売拠点として地域経済の向上や安定的な商品を提供しており、パン工房は玉野産朝日米の米粉を使用した食パンやメロンパンが好調で、ソフトクリーム用番田産紫いもの委託生産も順調に数量を伸ばすなど、売上増加に大きく貢献している。また、賑わい創出のために始めた駅前マルシェやキッチンカー受け入れも、個別の店舗に固定客が着くなど、集客に繋がっている。</p>	S

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
<p>【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。</p> <p>【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。</p> <p>【安全性の確保】 施設の修繕や、施設内の定期的な巡回を行い、防犯カメラ増設や夜間警備による警備強化が図られるなど、利用者の安全確保は良好である。</p> <p>【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。</p> <p>【利用状況】 農産物直販所、特産品展示直売所、パン工房ともに来客数は増加しており利用状況は良好で、消費者にとって魅力的な施設となっている。 （来客数） 令和6年度 農産物 275 千人、特産品 103 千人、パン工房 80 千人 令和5年度 農産物 284 千人、特産品 106 千人、パン工房 80 千人</p> <p>【コスト削減への方策】 人事評価制度の導入や従業員教育により、従業員の働き方を改善することで離職率が下がるなど、コスト削減に取り組まれている。</p>	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
<p>地域食材提供施設の利用者変更を行い、更なるサービス向上に取り組まれている。</p>	S
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
<p>平成28年度から9期連続で売上増となり、総売上高も3年連続して5億円を突破している。歴代最高売上高を更新しており、経営状況は優良と評価する。</p>	S

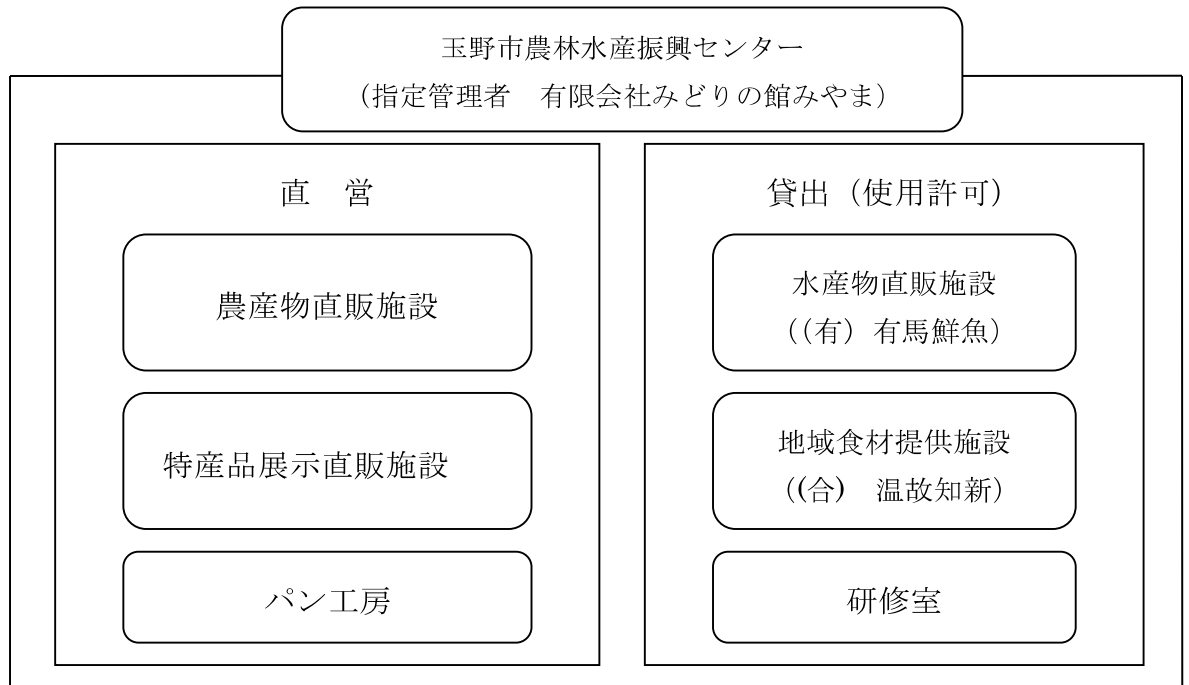
■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	19	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	トイレ等清掃
計		42	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施錠解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施している。

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して5年間の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1件（有限会社有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1件（合同会社温故知新）
研修室	使用許可	38件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

栽培講習会（野菜・花・果樹） 8回開催 参加者のべ141人

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	44,500円（17件）
水産物直販施設	4,800,000円（400,000円×12月）
地域食材提供施設	3,960,000円（330,000円×12月）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	57,000円（自主事業、玉野市の公共使用等のため 21件）
--------	--------------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

地域食材提供施設の新規事業者に5年間の使用を許可した。高騰する電気代の消費節減に努めた。

老朽化する通路や水道等の修繕工事を行った。従業員の接客マナー向上に努めた。

VII その他

第 27 期

経 営 状 況 説 明 書

—— 内 容 ——

1. 令和 6 年度決算の状況
2. 令和 7 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和 6 年度

決 算 の 状 況

目 次

I .	令和 6 年度 事業報告書	-----	3
II .	令和 6 年度 決 算 書		
(1)	貸 借 対 照 表	-----	5
(2)	損 益 計 算 書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製 造 原 価 報 告 書	-----	8
(5)	監 査 報 告 書	-----	9

I. 令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1 事業実施状況

令和6年度は、桜の咲く時期が少し早かったが、その後も国内外から多くの観光客が1年を通じて訪れた。近隣のお客様は、秋口以降高騰する野菜や白米を買い求める為に、週末は開店前から行列が出来るほど盛況だった。農産物の好調な売れ行きは、新規販売登録する出荷者の増加につながった。3年目となった残留農薬自主検査は、農産物直売所全体の食の安全に関する意識向上に大きく寄与した。

また、駅前マルシェ（キッチンカー販売エリア含む）は、個別の店舗に固定客が着くほど来店客に定着しており、週末を中心に1日最大7店舗の出店を受け入れた。駅前マルシェ全体で、岡山の食を手軽に味わえる魅力の1つに成長した。

令和6年度の総売上額は、527,585千円（対前年度比+9,412千円、101.8%）と微増ではあるが、平成28年度から9期連続で売上増となり、総売上高も3年連続して5億円を突破し、歴代最高売上高を更新した。当期は2,116千円の営業黒字を計上し、経常利益は1,617千円となった。

(1) 農産物直販施設

新規登録者の出荷物が多様で、野菜や果物の入荷量が順調に増えている。高齢による退会者は多いが、新たに19人が登録して、総数は6人増となった。

売 上 額：355,687千円（対前年度比 9,408千円 102.7%）

来 客 数：275,255人（対前年度比 -8,661人 96.9%）

登録者数： 413人（対前年度比 6人 101.5%）

(2) 特産品展示直売施設

新規登録者は8名だが、岡山県産の特産品を販売して売上の増加に貢献した。なお、事業の廃業や撤退をする事業者も増加している。

売 上 額：110,913千円（対前年度比 -2,213千円 98.0%）

来 客 数：103,001人（対前年度比 -3,200人 97.0%）

登録者数： 94人（対前年度比 0人 100.0%）

(3) パン工房

玉野産米粉を使ったオリジナルパンが好調で、固定客も多くなっている。玉野産米粉加工用米とソフトクリーム用番田産紫いもの委託生産も順調に数量を伸ばしており、地域農業への貢献度も高くなっている。

売 上 額：60,985千円（対前年度比 2,217千円 103.8%）

来 客 数：79,646人（対前年度比 34人 100.0%）

(4) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、野菜・花・果樹等の栽培講習会を、備前広域農業普及指導センター等の協力により8回開催し、のべ141人の農産物出荷者が参加した。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

令和6年度は、安定した来客の下支えもあり、売上を更に大きく伸ばした。

新鮮な瀬戸内の鮮魚を調理するサービスや、“名物焼きアナゴ”は好評だが、施設の老朽化が目立ってきており、改修計画の策定が急務である。

売 上 額：192,132 千円 （対前年度比 6,783 千円、103.7%）

(2) 地域食材提供施設

みやまカフェ PUUT の初年度は、斬新な取り組みとして、玉野市公園緑化協会とコラボした各種イベントを開催した。回転率を上げて来客数を大きく伸ばした。

売 上 額：48,760 千円

来 客 数：44,677 人

2 役員に関する事項

(令和7年3月31日現在)

就任年月日	役員名	氏 名	備 考
R 4. 5. 25	代表取締役	市 倉 勇 樹	
H19. 7. 13	取 締 役	岡 本 英 俊	
H28. 9. 1	取 締 役	金 川 洋 一	支配人
R 4. 5. 25	監 査 役	池 上 茂	
R 5. 5. 22	監 査 役	大 西 英 利	

3 法人登記に関する事項

変更 なし

4 職員に関する事項

(令和7年3月31日現在)

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	19	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	3	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	トイレ等清掃
計		42	

Ⅱ．令和6年度決算書

(1) 貸借対照表

令和7年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 106,670,857 】	【流 動 負 債】	【 46,933,400 】
現金及び預金	91,680,944	買 掛 金	3,091,246
売 掛 金	5,493,760	未 払 金	26,059,472
商 品	424,452	預 り 金	14,014,182
原 材 料	3,313,605	法人税等充当金	3,301,400
貯 蔵 品	3,503,528	商 品 券	30,000
立 替 金	314,688	未 払 法 人 税 等	437,100
未 収 入 金	1,912,320		
仮 払 金	27,560	【固 定 負 債】	【 1,500,000 】
【固 定 資 産】	【 57,502,902 】	退職給与引当金	1,500,000
(有形固定資産)	(53,949,568)		
建 物	19,316,410	負債の部合計	48,433,400
建物付属設備	27,934,095	純 資 産 の 部	
構 築 物	127,811		
車 両 運 搬 具	2,403,625	【株 主 資 本】	【 115,740,359 】
設 備 造 作	0	(資 本 金)	(3,000,000)
工具器具備品	4,167,627	資 本 金	3,000,000
(無形固定資産)	(1,493,334)		
ソフトウェア	1,493,334	(利益剰余金)	(112,740,359)
(投資その他の資産)	(2,060,000)	利 益 準 備 金	1,500,000
出 資 金	60,000	別 途 積 立 金	27,200,000
保 証 金	2,000,000	施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	49,540,359
		純資産の部合計	115,740,359
資産の部合計	164,173,759	負債及び純資産の部合計	164,173,759

(2) 損 益 計 算 書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

科 目	金 額	円
(経 常 損 益 の 部)		
(営 業 損 益 の 部)		
【純 売 上 高】		
商 品 売 上 高	128,817,747	
売上高 (パン工房)	56,710,441	
販 売 委 託 料	49,108,829	
販 売 手 数 料	3,872,945	
受 取 管 理 料	10,975,599	
登 録 ・ 会 費 収 入	1,051,830	250,537,391
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	560,924	
商 品 仕 入 高	85,395,859	
当 期 製 品 製 造 原 価	55,307,754	
合 計	(141,264,537)	
期 末 棚 卸 額	424,452	140,840,085
売 上 総 利 益		(109,697,306)
【販売費及び一般管理費】		107,581,677
営 業 利 益		(2,115,629)
(営 業 外 損 益 の 部)		
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	8,296	
道 の 駅 清 掃 委 託 金	2,096,000	
急速充電器管理委託料		
雑 収 入	237,651	2,341,947
【営 業 外 費 用】		
営業外収入関係費用	2,831,072	
雑 損 失	9,091	2,840,163
経 常 利 益		(1,617,413)
税引前当期純利益		(1,617,413)
法 人 税 等		437,100
当 期 純 利 益		(1,180,313)

(3) 販売費及び一般管理費

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	52,000	円
給 料 手 当	41,435,086	
賞 与	10,778,000	
雑 給	897,289	
支 払 報 酬 料	840,000	
法 定 福 利 費	6,583,774	
厚 生 費	420,097	
減 価 償 却 費	10,396,550	
賃 借 料	2,546	
修 繕 費	4,524,192	
事 務 用 品 費	297,128	
消 耗 品 費	7,199,608	
水 道 光 熱 費	4,910,190	
旅 費 交 通 費	35,367	
支 払 手 数 料	1,895,304	
租 税 公 課	258,869	
交 際 接 待 費	0	
保 険 料	3,159,066	
通 信 費	376,295	
諸 会 費	78,225	
広 告 宣 伝 費	428,638	
新 聞 図 書 費	107,450	
荷 造 運 賃	264,390	
会 議 費	0	
清 掃 委 託 費	431,620	
車 輦 費	272,138	
研 修 会 費	241,645	
管 理 諸 費	3,968,292	
雑 費	144,263	
リ ー ス 料	3,322,300	
備 品 費	1,079,535	
地 代 家 賃	3,181,820	
合 計	(107,581,677)	

(4)製造原価報告書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

科 目	金 額	
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	2,534,531	
原 材 料 仕 入 高	24,904,281	
小 計	(27,438,812)	
期末原材料棚卸高	3,313,605	24,125,207
【労 務 費】		
賃 金	15,672,645	
賞 与	3,125,500	
法 定 福 利 費	2,292,107	
厚 生 費	389,012	21,479,264
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	2,835,570	
消 耗 品 費	2,288,214	
旅 費 交 通 費	0	
減 価 償 却 費	681,580	
修 繕 費	559,060	
車 両 費	0	
保 険 料	23,778	
備 品 費	262,546	
事 務 用 品 費	2,479	
リ ー ス 料	2,396,100	
管 理 諸 費	232,664	
諸 会 費	373,800	
広 告 宣 伝 費	0	
マ リ ン pay 費 用	47,492	9,703,283
総 製 造 費 用		(55,307,754)
当期製品製造原価		(55,307,754)

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 15 日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 市倉 勇樹 殿

監査役 池上 茂

太西 英利

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの、第 27 期営業年度における取締役の職務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

令和 7 年度

事業計画の概要

目 次

I.	令和7年度 事業計画書	-----	12
II.	令和7年度 予 算 書	-----	13
	(1)販売費及び一般管理費内訳	-----	14
	(2)製造原価報告書内訳	-----	15
(参考)	売 上 高 の 推 移	-----	16

I. 令和7年度事業計画書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

近年の気候変動は農産物の安定生産に大きな影響を与えており、従来の栽培暦だけでは対応が困難な状況が続いている。直売所においても、農産物の入荷量や時期の変動を見据え、引き続き臨機応変な運営体制が求められる。

3年目を迎える農薬使用履歴管理システムと残留農薬自主検査は、食の安全確保における当施設の根幹的な取り組みとして定着してきた。生産者の農薬に対する意識向上は着実に進んでいるものの、より一層の理解と遵守を促すため、栽培講習会や個別指導を通じて営農指導を強化していく。

また、令和8年度に開業30周年となる玉野市農林水産振興センターと、開園50周年のみやま公園双方の関係者で、連携した記念イベント開催を目指す協議会を設立する。

1. 農産物直販施設

生産者の高齢化による離農は依然として課題であるが、一方で意欲ある大口生産農家の参入もあり、農産物の入荷数量は引き続き安定確保を目指す。地域に先駆けて導入した食の安全と農産物の品質向上プロジェクトを主軸として、新鮮でおいしい農産物を提供することで、信頼される直売所としての地位を確立する。

市場からの仕入れ商品は、引き続き岡山県産にこだわり、品揃えの充実を図るとともに、需要予測に基づいた適切な在庫管理を行い、消費者の期待に応える売り場づくりを推進する。

2. 特産品展示販売施設

引き続き、玉野市内の事業者や玉野市産特産品の魅力を発信し、地域経済への貢献を目指す。同時に、岡山県全体の優れた産品も積極的に取り扱い、県産品のアンテナショップとしての役割も強化していく。

3. パン工房

玉野市産朝日米の米粉を使った商品は、定番商品として安定した人気を誇っている。昨年度の5周年を経て、これまでの人気商品を大切にしつつ、季節感を取り入れた新商品や、地域の食材を活用した限定商品開発にも継続して取り組み、顧客の満足度向上を図る。

4. 研修室

栽培管理講習会は、今年度も年間8回開催する予定である。研修室の利用促進を図るため、広報誌に加え、SNS等も活用した情報発信を行い、市民の学習機会の提供やコミュニティ活動の場としての活用を周知する。

【参考】

・水産物直販施設

名物の“焼きアナゴ”を筆頭に、地元産の新鮮な魚介類とその加工品の提供を通じて、地域の海の幸を発信する拠点としての役割を担う。施設の老朽化については、喫緊の課題として認識しており、テナント事業者と具体的な改修計画や費用負担に関して、引き続き協議を進める。

・地域食材提供施設

開業2年目を迎え、地域食材を活かした独創的なメニュー提供を引き続き期待する。道の駅ならではの「ここでしか食べられない味」を確立し、リピーター獲得に繋がるよう、施設利用者への支援・連携を継続する。

Ⅱ．令和7年度予算書

自 令和7年 4月 1日
至 令和8年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経常損益の部)		千円
(営業損益の部)		
【純売上高】	(249,700)	(241,100)
商品売上高	128,000	123,000
売上高(パン工房)	57,000	55,000
販売委託料	50,000	50,000
販売手数料	3,600	3,600
受取管理料	10,000	8,500
登録・会費収入	1,100	1,000
【売上原価】	(138,530)	(136,420)
期首棚卸高	424	560
商品仕入高	85,000	82,000
製品製造原価	53,530	54,420
合 計	138,954	136,980
期末棚卸額	424	560
売上総利益	111,170	104,680
【販売費及び一般管理費】	109,830	103,296
営業利益	1,340	1,384
(営業外損益の部)		
【営業外収益】	(2,596)	(2,805)
受取利息	0	0
道の駅清掃委託金	2,096	2,305
急速充電器管理委託料	0	0
雑 収 入	500	500
【営業外費用】	(2,805)	(2,805)
営業外収入関係費用	2,805	2,805
営業外損益	-209	0
経常利益	1,131	1,384

(1) 販売費及び一般管理費内訳

単位：千円

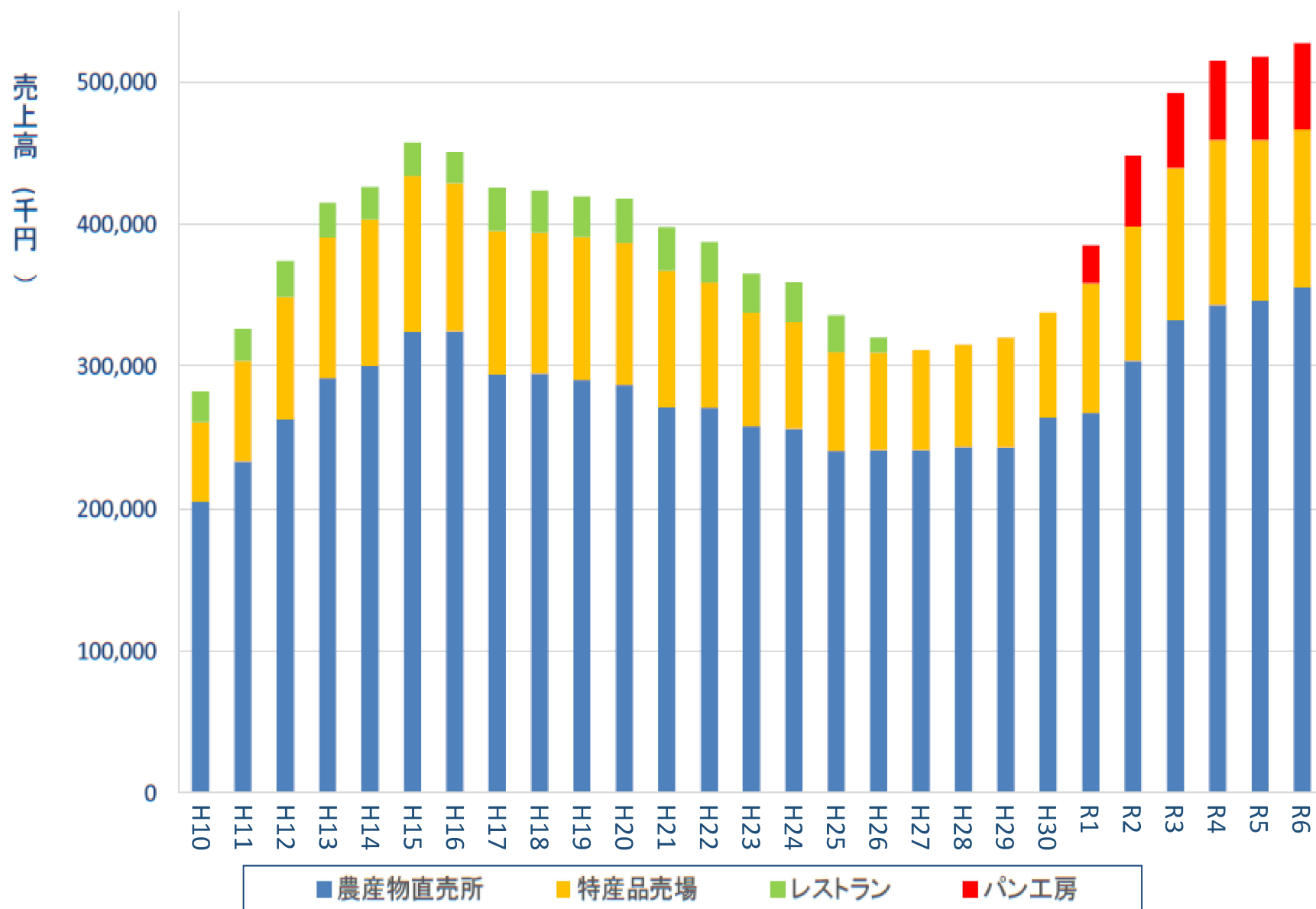
科 目	予 算 額	前年度予算額
役員報酬	70	70
給料手当	41,000	40,000
賞与	12,000	12,000
雑給	500	500
支払報酬料	1,000	1,500
法定福利費	6,800	6,500
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	8,000	8,500
賃借料	10	50
修繕費	3,000	3,000
事務用品費	400	400
消耗品費	5,000	5,000
水道光熱費	6,000	6,000
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,500	1,500
租税公課	250	250
交際接待費	30	30
保険料	3,000	500
通信費	500	500
諸会費	200	200
広告宣伝費	500	500
新聞図書費	100	100
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	1,000	1,000
車輛費	300	300
研修会費	500	500
管理諸費	4,000	4,000
雑費	100	100
リース料	5,000	3,500
備品費	1,500	1,500
地代家賃	5,455	3,181
合 計	109,830	103,296

※科目間の流用を認める

(2) 製造原価報告書内訳

科 目	予算額	前年度予算額
		千円
【材 料 費】	(24,000)	(23,500)
期首原材料棚卸高	3,313	2,534
原 材 料 仕 入 高	24,000	23,500
小 計	27,313	26,034
期末原材料棚卸高	3,313	2,534
【労 務 費】	(21,900)	(20,950)
賃 金	15,500	15,000
賞 与	3,500	3,000
法 定 福 利 費	2,500	2,500
厚 生 費	400	450
【製 造 経 費】	(7,630)	(9,970)
水 道 光 熱 費	2,800	2,000
消 耗 品 費	2,000	2,000
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	680	600
修 繕 費	300	200
車 両 費	10	10
保 険 料	50	50
研 修 会 費	30	50
備 品 費	300	300
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	400	3,700
管 理 諸 費	400	400
諸 会 費	360	360
広 告 宣 伝 費	50	50
マ リ ン pay 費 用	150	150
合 計	53,530	54,420

売上高の推移



【書式例 5-4】

令和 6 年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 7 年 3 月 1 日 (4 回目)
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 1 1 年 3 月 3 1 日 (5 年間)
担 当	電 話 0 8 6 3 - 3 2 - 0 1 1 5 E-mail miyama@m-y.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
---------------	---------

<p>3期連続売上高5億円を突破し、来店するお客様の満足度も高評価である。</p> <p>賑わい創出のために始めた駅前マルシェやキッチンカー受け入れも、個別の店舗に固定客が着くほど盛況で、集客に繋がっている。</p> <p>【前回の自己点検からの改善点】※2回目以後の自己点検の場合</p> <p>令和6年度から開始した5年間の指定管理に合わせて、地域食材提供施設の事業者が営業を開始した。</p> <p>老朽化が目立つ箇所は、自主的に修繕して来場者の安全を図った。</p>	<p>S</p>
---	----------

■「総合評価」の評価基準

- S（優良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
<p>【適切な施設管理の履行】</p> <p>規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃に務めた。</p> <p>【法令等の遵守】</p> <p>必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。</p> <p>【安全性の確保】</p> <p>施設内の定期的な巡回を行い、消火器等の保守点検をし、修繕を行った。駐車場の防犯カメラを4Kに更新活用して、犯罪・万引き防止に努め、施設内の警備を強化した。夜間は警備会社と契約し、犯罪撲滅に努めた。</p> <p>【財産の適切な管理】</p> <p>老朽化した施設内設備・備品は順次更新し、適切な使用や保守管理を行った。</p> <p>【利用状況】</p> <p>常に魅力的な売場になるよう運営をした結果、利用者が増えた。</p> <p>【コスト削減への方策】</p> <p>人材育成に勤め職場環境の改善を図ることで、作業効率がよくなった。</p>	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
<p>従業員のホスピタリティ溢れる接客と、購買者の機会損失を少なくする売場作りを心がけた結果、施設の魅力が向上した。</p>	A

<p>【前回の自己点検からの改善点】※2回目以後の自己点検の場合</p> <p>地域食材提供施設の利用者変更を行い、更なるサービス向上に努めた。</p>	
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
<p>売上高が9期連続で増えており、経営基盤は安定している。機器の更新や修繕も計画的に進めている。従業員への昇給賞与を伴う還元も進んでいる。</p>	<p>S</p>

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。